

(関係部門へご回覧ください)

金融機関のシステム開発のために最低限必要なこと ～あらゆる情報を整理し理解することが重要～

金融業務のシステム開発のためには何が必要なのか？基本はシステム開発の手法などを理解していくべきだと思いますが、システム開発の知識だけでいいのでしょうか？自分はどのようなことを知らなければならぬのか？そんな疑問に答えるのがこのセミナーのねらいです。

金融に関するシステムは、現在さまざまな状況に直面しています。勘定系システム、情報系システム、営業店系システム、対外系システムなど独自の開発ではなく各システムの連携やシステム全体のクラウドへの移行などが重要な今後の課題となってきています。

また業務ばかりではなく、政府の政策や法律の改正などによる開発もかなり多くの場面でみられるようになってきました。FISCの安全対策基準の改訂やIT人材の育成についての報告書も出されました。このような状況においては金融システムの過去の推移や経緯をたどることによって、今後の方向性をも知ることが重要です。また、最新の動向にも目を向けていかなければなりません。

このセミナーでは、そのような金融システム開発の一つの助けになる様々な情報を整理して理解し、自分の仕事としてのシステム開発の助けとなりまた興味を持つことをねらいとします。

開催日：2018年7月6日（金）1.0日間

会場：ニッキンホール（東京・市ヶ谷）

講師：（敬称略）

富士通株式会社

金融ソリューション開発事業部 PROBANK担当 アドバイザー

兼 富士通エフ・オー・エム 専任部長 齋藤和男

主催：CMC

Computer Based Management College

<http://www.nikkin.co.jp/cmc/>

※上記サイトからWebでの申し込みが出来ます

後援：一般社団法人 全国地方銀行協会

一般社団法人 第二地方銀行協会

一般社団法人 全国信用金庫協会

一般社団法人 全国信用組合中央協会

金融機関のシステム開発のために最低限必要なこと

カリキュラム 10:30~16:30 (10:00 受付開始)

1. 金融システムの基礎知識

(1)銀行システムの歴史

- ・銀行業務の視点
- ・システムからの視点

(2)銀行システムの全体像

- ・勘定系システム
- ・情報系システム
- ・営業店システム
- ・対外系システムなど

(3)銀行システムをめぐる最近の動向

- ・ITに関する政府の政策など
- ・FISCの関連ドキュメント
- ・決済業務の高度化
- ・FinTech、API、ブロックチェーン
- ・AI、オムニチャネル、ビッグデータ
- ・FIDO、生体認証
- ・セキュリティ、犯罪収益移転防止法など

2. 海外金融機関のシステムの動向

- ・最近の動向
- ・日本との比較

3. 金融機関の開発傾向

(1)開発の体制と事例

- ・クラウドやアジャイル開発など
- ・成功例と失敗例
- ・プロジェクトマネジメント
- ・PMBOKの改訂など

(2)開発の流れ

- ・開発体制
- ・品質の維持
- ・人材育成
- ・コミュニケーション

※昼食はこちらで用意いたします。

齋藤 和男 氏 (講師略歴)

旧第一勧業銀行入行。第一勧銀システム開発取締役銀行システム部長を経て、2000年富士通に入社、PROBANK担当主席部長。2012年富士通エフ・オー・エムに転籍。

26

第82回 金融機関 システム部門マネジメントセミナー

「金融機関のシステム開発のために最低限必要なこと」

ホームページ用受講申込書（7月6日開講）

貴社名

所在地 〒

TEL

FAX

Eメール

	参加者氏名	所属（部・課・グループ）	役職

☆お申し込みいただきました方には、受講証・請求書・会場地図を郵送いたします。

☆一週間経過しても届かない場合はご連絡ください。

受講料 A：CMC会員価格 41,040円（本体価格38,000円）

B：後援団体会員価格 44,280円（本体価格41,000円）

C：一般価格 47,520円（本体価格44,000円）

お問い合わせは、（昼食はこちらで用意いたします）

株式会社 CMC

TEL 03-3261-4550 FAX 03-3261-4570 まで。

注：振込先銀行

みずほ銀行 市ヶ谷支店 普通預金 1797042 (名義) 株式会社 CMC

振込予定日（できるだけご記入ください） 月 日

受講についてのお願い

- ①受講料は、セミナー開催日までにお振込みください。
- ②銀行振込の場合は領収書を発行いたしません。
- ③銀行振込に際しては、可能であれば貴社名の前に請求書番号の下3桁（枝番数字）を付記してください。
振込手数料は貴機関でご負担をお願い申し上げます。
- ④開催日一週間以内の受講キャンセルの場合、受講料の払い戻しはいたしません。
- ⑤講演中の録音・撮影ならびにパソコン・携帯電話の利用はご遠慮ください。
- ⑥ホームページに提携ホテル一覧がございます。特別割引もございますので是非ご利用ください。
- ⑦諸般の事情により開催を中止させていただく場合がございます。